

親父へ



特別養護老人ホーム
いしどりや荘

主任・介護支援専門員
赤坂 秋彦

早いものであなたが亡くなり1年が経ちました。姉と私たち双子の3人を育てあげ、5人の孫達に囲まれたあなたは、幸せな生涯を送ることが出来ましたか?。こうしてあなたに想いを伝えることは初めてですね。思えば、成長と共にあなたとの会話も減っていました。

あの日、母からの電話で、あなたがいつも様子が違うことを知らされました。あなたは「秋彦を呼ぶとうるさいから連絡するな」と言っていたようですが、母は心配で仕方なかつたのでしょう。

急いであなたの家へ向かうと、そこには元気に振舞うあなたの姿があり、内心ほっとしました。「心配かけるな」と捨て台詞を残し、私は自宅へと戻った数分後、母から「やっぱりおかしい」との連絡で再び駆け付けると、そこには意識が無く呼吸も止まつた状態のあなたがいました。心臓マッサージをする私に応えるように、あなたは自発呼吸をしてくれました。

かつて病院が嫌いだったあなたは、入院しても無断で家へ戻って来たこともありましたよね。そんなことを思い出し、あげて「人工呼吸器を使わないで下さい」と医師に伝え、全身に付けられていたチューブが外され、医師からは「今夜持つかどうかでしよう」と話されたことを今でも覚えています。看護師は優しく「思い出話をしなどをしてあげて下さい」と、そつと家族だけの時間を作ってくれました。

「親父、これで良いんだよな。病院嫌いだもんな」、そんなことを言いながら、家族でそつとあなたの手を握り、数え切れない程の思い出話しをしましたよね。

小さな頃は大きいと感じていたあなたの手は、いつしか小さく深いシワが出来ていました。「親父、喧嘩ばかりだつたけど、今まで育ててくれて本当にありがとう」。心音モニターの音が鳴り響く中、ゆっくりと静かに眠りについたあなたは、安らかな表情をしていました。母が最後に「お父さん」と一言…泣いていました。

仕事柄、看取りの経験はあったものの今、親の死を看取る中で、福祉のいう看取りを改めて考えさせられた瞬間でもありました。看取りって何? 看取る側と看取られる側、それを支える人がいて始めて看取りが成立すること。家族だから看取る意味があり、その環境を作つてくれる人の重要性。

最後の最後まで、あなたは私に何かを教えてくれたように思いました。



ありがとうございます

●丸モ盛岡中央青果株式会社より

1月16日に丸モ盛岡中央青果株式会社(浅沼優治代表取締役社長)の新沼取締役部長、吉田常務取締役が当会を訪れ、167,000円を寄付しました。寄付金は当会の福祉推進活動に活用する予定です。

同社では、年始初売り宝船の売上金を平成18年度から寄付いただいており、今年で7回目になります。



●東北労働金庫岩手県本部より

1月21日に東北労働金庫岩手県本部(小野寺正志本部長)は当会を通じ、岩

手県障害者作業所連絡協議会及び岩手県内の5か所の福祉作業所に計600,000円を寄付しました。

東北労働金庫では、利息の一部が福祉への寄付となる福祉型預金を販売。その

預金者の善意と同金庫からの拠出金を併せて毎年寄付を行っており、今回で16回目となります。



お世話になりました

ふれあいランド岩手の総合受付スタッフ阿部容子さんと生活を共にしてきた介助犬ラムジーが介助犬の仕事を引退することとなり、3月4日でふれあいランド岩手も退職することになりました。

平成20年から岩手県で第一号の介助犬ラムジーは、阿部さんと生活を始めました。阿部さんと共に勤務し、ふれあいランド岩手で実施するキャップハンディ体験では、阿部さんと一緒に講師も務めました。来館者や職場のスタッフにも大人気で、ラムジーの周りにはいつも人の輪ができていました。

今後は、介助犬としての第一線を引退し、

新しい生活を始める予定です。

ラムジー、お疲れ様でした。



☆ラムジーへ、ラムジーを愛してくれた皆さんへのメッセージ☆

私の元に来た頃のラムジーは、どこか遠慮がちで一線をおいていました。それが、毎日を一緒に過ごすうちに、お互いになくてはならない存在になりました。

ラムジーと一緒に映画を観に行った時、大音響の中でも平気で寝ていて、ちょうど静かになった時に、ラムジーのいびきが響きわたったこと、震災の時もラムジーが居てくれただけで、どんなに救われたか。

語りつくせないほどの思い出をラムジーは私の心の中に残してくれました。さよならは残念で悲しいですが、それ以上に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、ランドの利用者のラムジーファンの皆さんにも感謝です。ラムジーを愛してくださってありがとうございました。(阿部容子)